

コロナ禍での生活が二年目に突入しました。ワクチン接種が始まりましたが、慎重な感染予防が必要な状況は続きそうです。ここまです、刻々と変化する状況にその都度対応したり、「当たり前」を問い直して大切なことを選び直していったり、与えられた状況でできることを考え行動しながら過ごしてきたのではないのでしょうか。

オンライン授業を体験したことで、学生の皆さんからは通学時間が実は結構な負担になっていたことに気づいたという声が聞かれました。浮いた時間を有効活用した人もいます。が、生活のメリハリが失われやすいので普段以上に自己管理が必要だったはずです。また、友人と一緒に過ごす時間が自分には必要だとか、人に合わせすぎてストレスを感じていた面があったなど、気づく経験になったかもしれないですね。当たり前に通学して集団の中で学ぶ日々から離れてみると、自

分の好みや向き不向き、価値観などが自ずと見えてきたことと思います。大学生が世の中でどう扱われるのか、政治や国の在り方と無関係ではないことをいつになく実感したかもしれません。生活にある一つひとつの事態について自分なりに悩み考える経験を重ねられたら、それは今後の人生の糧となる価値ある時間になると思います。「普通こうでしょう」、「世の中こういうものだから」と片付けるよりも、この特殊な時期に大学生をして見ているお子さんの経験や見ている世界に耳を傾けてみてはいかががでしょうか。

学生相談室  
だより 113  
カウンセラー 奥野 光

か。学生相談室では、オンライン、電話、メール、対面でお話をうかがっています。換気可能な部屋が限られているため対面の相談は他より予約を取りづらくなっています。どうかご了承ください。ご家族からのご相談もお待ちしています。